

2011年6月20日
公益財団法人イオン環境財団

私たちの手で 命あふれる森を 未来の子どもたちへ 「北海道支笏湖植樹」を実施いたします

公益財団法人（以下公財）イオン環境財団は6月25日（土）、北海道支笏湖周辺において「北海道支笏湖植樹」を実施いたしますのでご案内申し上げます。

北海道千歳市と苫小牧市にまたがる支笏湖周辺は、2004年9月の台風18号により多くの針葉樹等の木々が倒れる被害を受けました。とりわけ支笏湖周辺に位置する樽前山麓の森は、平坦林で火山灰地という土地特性もあり、道内最大規模の被害となりました。

このたび実施する「北海道支笏湖植樹」は、支笏湖周辺の森の再生を目指し、北海道森林管理局・胆振東部森林管理署と（公財）イオン環境財団が2007年から5ヵ年計画で開始したものです。命はぐくむ森を一刻も早く再生したいという思いから、地域の方々とともに実施しております。

最終年度となる今年の植樹は、約1,000名のボランティアの方々にご参加いただき、10,000本を植樹する予定です。これにより、延べ約5,000名のボランティアが参加された支笏湖植樹活動の累計植樹本数は、5年間で40,000本となります。

（公財）イオン環境財団は、水と緑を守っていく活動として、本年も支笏湖植樹をはじめ、山形南陽市や海外ではラオスの植樹を実施いたしました。今後も（公財）イオン環境財団は国内外で地域の皆さまとともに木を植え続けてまいります。

記

1. 実施日：6月25日（土） 10:00～11:30（雨天決行）
2. 植樹場所：北海道支笏湖周辺の樽前山麓
3. 参加者：地域のボランティアの方々など約1,000名
4. 樹種：エゾアカマツ、トドマツ、ミズナラ、シラカバ、ヤチダモ
5. 植樹本数：約10,000本
6. 主な参加者：北海道森林管理局計画部長 平野 均一郎 様
胆振東部森林管理署業務課長 藤本 隆幸 様
公益財団法人イオン環境財団 理事長 岡田 卓也
7. 主催：公益財団法人イオン環境財団
8. 後援：北海道森林管理局 胆振東部森林管理署
9. 協力：イオン北海道株式会社 マックスバリュ北海道株式会社

【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道株式会社 総務部 011-865-4120

<ご参考までに>

【(公財)イオン環境財団について】

(公財)イオン環境財団は、地球環境を守るためのさまざまな活動を展開するとともに、同じ志を持つ団体への支援・助成の実施を目的として1990年に設立され設立以来、命あふれる森を取り戻すために1998年に始まった北京「万里の長城植樹」や、2002年にスタートした「知床 森の再生植樹」など、国内外において地域の皆さまとともに植樹活動を続けてまいりました。また、地球環境・地域環境保全のために積極的・継続的に活動を行っている団体への支援を行い、これまでに国内外2,223の団体へ19億5千万円を超える助成を実施しております。

北海道においては、2002年より2006年まで斜里町による「しれとこ100平方メートル運動」に賛同し、かつての開拓によって失われた森の再生をはかるべく、「知床森の再生・植樹活動」で約9,000本を植樹いたしました。

以上

【北海道支笏湖植樹周辺図】



※ 昨年度の276号線からのルートは、道路状態が悪いため使用できません。
本年は苫小牧西インターチェンジ方面から141号線を北上するルートとなります。
141号線から植樹会場への侵入口には、係員が待機し誘導いたします。
(苫小牧西インターチェンジ横の入り口から植樹会場までは、約17分です。)